

集中豪雨・天候不順で、 農作物に影響が出ています

7月中旬より降り続けている雨の影響で、農産物の成育や収穫に大きな被害が出ています。

畑が冠水し収穫ができなくなったり、病害が多発し産地の収穫量が大幅に減少しています。パルシステムのレタスの産地では、雨により葉を叩いた部分からタール・菌核病等の病気の発生及び、根の傷みによる病害の発生が起きております。そのため廃棄せざるを得ない状況で収穫可能量は3~4割となっています。



畑で病害が発生し収穫不能となったレタス 八ヶ岳

できる限り商品手配をおこなっていますが、やむを得ず欠品になってしまう場合があります。

パルシステムでは組合員様からのご注文に可能な限りお応えできるよう、商品の確保を進めていますが、一部に欠品や規格変更によるお届けがでてしまうことをご理解いただきますようお願いいたします。

特に被害が大きい作物は以下の品目です。

1. ぶーどのほうれん草、ぶーどの小松菜、エコ・水菜、などの葉菜類

現時点で計画していた量の3~4割程度の出荷量です。

2. 高原産地のキャベツ、レタス、ほうれん草、小松菜など

畑の冠水や病気の発生により、8月いっぱい品薄の状態が続くと思われ、深刻な状況です。また品質不良の発生が予想されます。

3. トマト、ミニトマト、キュウリ、など

トマト、ミニトマト、キュウリ、エコ・なす、カボチャなどの果菜類は成育不良により計画していた量の5～7割程度の出荷量です。ハウス栽培が中心のため、天候が回復すれば持ち直すと考えられます。トウモロコシは実入りが悪く、8月まで成育不良が続く見込みです。

4. 人参、ごぼう、など

北海道からの出荷が遅れているため、8月後半まで品薄となり代替供給が続きます。ごぼうなどの根菜類は、畑がぬかるんでいるため収穫作業が困難な状況ですが、雨があがれば出荷量が増えてくると考えられます。

5. 果実類

ぶどう各種、桃などの出荷量が8割程度。

受注量によっては代替供給または規格変更が発生する可能性があります。

今後の見通しは？

降雨が止めば、根菜類などは回復のぞめますが、今後さらに降雨や日照不足が続くと野菜類の成育不良や成育遅れが予想されます。また東北や高原産地での日照不足による病害の多発が懸念されます。**葉菜類を中心に不足状態が8月お盆明けまで続く見込みです。**



【お願い】

できるだけ「欠品」にならないよう代替手配を行いますが、「エコ・チャレンジ」品、「ふーど」品については「欠品」となる場合があります。**ご理解をお願いいたします。**

また品質的には、葉菜類、桃などにおいて水分過多による病害やいたみの発生などが予想されます。**届いた青果物につきましては、冷蔵庫での保管、早めに召し上がっていただくなど取り扱いの注意をお願いします。**